

藤波こども園教育・保育目標および主な内容

目標 たくましいからだ・がんばるちから・やさしいところ

		6か月未満	6か月から1歳3か月未満	1歳3か月から2歳未満	2歳児
保育のねらい		○一人ひとりの生理的欲求を満たし、健康で安全に生活できるようにする。 ○安心、安全な環境の下で、運動機能や感覚機能の発達を促す。	○一人ひとりの生活リズムを大切に生理的欲求を満たし、安心感の中で過ごす。 ○やさしく語りかけたり、ふれあいを大切に、信頼関係を築いていく。	○保育者との信頼関係の中で自分の気持ちを安心して伝えたり表すことができるようになる。 ○食事、排泄、着脱等の活動を通して、自分で行うとする気持ちを育てる。	○安心できる保育士との関係のもとで、簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。 ○保育者や友だちとの生活や遊びの中で、言葉のやりとりを楽しんだり、表現して遊ぶことを楽しむ。
養護	生命の保持	保育者の愛情豊かな受容的な関わりにより、気持ちのよい生活が出来るようにする。	一人ひとりの心身の発育や発達の状態を的確に把握する。	生理的要求や甘えなどの依存要求を満たし、快適に生活できるようにする	身の回りの清潔や安全の習慣が少しずつ身につくようにする
	情緒の安全	一人ひとりにやさしく語りかけをし、保育者との関わりを楽しいものにする。	特定の保育者との温かいふれあいや優しい語りかけにより情緒を安定させるようにする	信頼関係を深めるなかで、自分の思いを表していく	自我を受けとめられることにより、自分の気持ちを安心して伝える
内容	健康	生理的欲求を満たし、同じリズム、テンポによる関わりで気持ち良い生活をする。	生活や遊びの中で模倣したりすることを楽しむ	簡単な身の回りのことに興味を持ち自分で行うとする	生活に必要な活動を自分でする
	人間関係	笑う、泣く、動く等で自分の欲求を表現する。 保育者の声を覚える。	保育者や周りに人との関わりの中で、喜びや嫌の感情がはっきりしてくる。	安心できる保育者の見守りの中で身のまわりの大人や子どもに関心を持ち関わろうとする	身近にさまざまな人がいることを知り関わって遊ぶ楽しさに気付く
	環境	部屋の換気や採光で空気や光の変化を感じる。	生活の中で、周りにいろいろな物があることを知る。	身近な環境に親しみ、保育者を仲立ちとして、生活や遊びに取り入れようとする	身近な環境に興味を持ち、自分から関わり、生活を広げていく
	言葉	繰り返しいいさつや生活の中で必要な言葉をやさしくかけてもらう	したい事、して欲しい事を声を出したり、指さし等の動作で示す。 人の動作や言葉の真似を始める。	保育者の関わりを通じて、生活や遊びの中で、簡単な言葉を使おうとする	言葉への興味や関心を持ち言葉のやりとりを楽しむ
	表現	身のまわりの物を見たり触れたりする。	生活や遊びの中で興味を持ったり、気付いたりする。	人や動物などの模倣をしたり、経験したことを、興味のあることなど自分なりに表現することを楽しむ	日常の経験を通じ、面白さや美しさに気づき、自由に表現しようとする
	食育	授乳をよろこぶ。	食べる事に意欲を持つ。	食べることを楽しみにする	身近な人とともに食べる楽しさを知る
	延長保育	生理的欲求を満たしてもらい、健康で安全に過ごす。名前を呼び抱っこを十分する	生理的欲求を満たしてもらい気持ち良く過ごす。スキンシップを十分する。	自分の欲求を受けとめてもらい優しく守られる心地よさを体験する。	気持ちを受けとめてもらい、安心して自分の気持ちを出す。

		3歳児	4歳児	5歳児
保育のねらい		○身近な環境に興味を持ち、自分から関わり、生活を広げ、したいこと、して欲しいことを言葉で表し、身の回りの生活の仕方を身につける。 ○身近な人と関わり友達と遊ぶ事を楽しむ	○健康、安全について知り、自ら行動する。 ○教師や友達と関わりながら、相手の気持ちを考えたり、認めあったりして集団で活動することを楽しむ。	○友達や異年齢児とのかかわりの中で自己主張したり、相手の立場を考えたりして行動する。 ○健康や安全に気をつけ、色々な遊びを活発に行う。
養護	生命の保持	生活に必要な基本的な習慣が身につくようになる	生活に必要な基本的な習慣をすすんでする	健康・安全に過ごすために必要な基本的な習慣や態度を身につける
	情緒の安全	保育士に見守られる中で、主体的に活動する	教諭との信頼感の中で、様々な経験を通じ自己の暫定感を育む	教諭や友だちに主体として受けとめられる中で自己を十分に発揮し、自信を持って活動できるようにする
内容	健康	生活の流れを理解し、見通しを持って行動する 体の異常を自分から訴えたり危険を回避するようになる	自分で出来る事に喜びながら生活に必要な基本的習慣を身につける。	健康・安全に過ごすために必要な基本的な習慣や態度を身につけ理解し、適切な行動を選択することができるようになる
	人間関係	様々な経験や友だちとの関わりの中で決まりがあることを知り、守ろうとする	自分の意思を主張するが、相手の思いも受け入れて、友達と協力し合う	友だちへの親しみを深め、自分たちで作った決まりを守る。 年齢の低い子に愛情を持ちいたわる。
	環境	身近な動植物や人々に関心を持ち生活や遊びを取り入れていく	自然や身近な事物に興味を持ち工夫して生活や遊びに取り入れる	周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持って関わり、それらを生活や遊びに取り入れて発展させようとする
	言葉	考えたことや自分が経験したことを保育者や友だちに話して会話を楽しむ	身近な事物や事象について話したり日常生活に必要な言葉を使う中で相手の話を聞き、伝え合う喜びを味わう	人の話を注意して、共通の話題を話したり、日常生活に必要な言葉を適切に使う
	表現	生活の中で、様々な音や色や形などに気づき、と友だちと表現しようとする	身近な物への関心が高まる中で感じたことや想像したことを自由に工夫して表現する	感じたこと、想像したことを言葉や身体音楽、造形などで自由な方法で様々な表現を楽しみ、自分なりに表現する
	食育	食生活に必要な習慣や態度に関心を持つ	食事の基礎的な態度を身につける	食が生命にとって重要であることを知り栄養バランスを意識する
	預かり・延長保育	家庭的な雰囲気の中で保育者との信頼関係を深め安心して自分の気持ちを出す 十分なスキンシップをしてもらい心が安定する。	家庭的な雰囲気の中で、保育者や友だちに親しみを持って遊んだり、生活したりする。	家庭的な雰囲気の中で異年齢の友だちとの関わりを深める。 気の合う友だちの中で相手の気持ちに気付く